

発行／2022年7月8日 発行者／白井第三小学校区まちづくり協議会



白井第三小学校区まちづくり協議会設立

白井市長笠井喜久雄様をはじめ多くの来賓の方々、市民活動支援課の職員の皆様、役員、代議員が集まり「令和4年度白井第三小学校区まちづくり協議会定期総会」が行われました・いよいよ今年度から地域活性・環境部会、子育て・青少年部会、福祉・健康部会、防犯・交通安全部会、防災特別部会の活動がスタートします。キャッチフレーズは『子どもと大人がふれあうまち』みんなで力を合わせ良いまちづくりのためにがんばりましょう！



協議会長あいさつ

2月6日の総会を経て、白井第三小学校区まちづくり協議会総会の設立に至りました。多くの地域課題を実現する為、まちづくり協議会に五つの活動部会を作り、それぞれの内容に沿った活動を連携協力し、さらに少子高齢化に向け、幅広い視野に立ち、住民の安心安全を第一に考える災害計画、通勤、通学道路等の細やかな環境整備を早急実現する為に、地域の皆様のご意見を大切に受け止めご近所が共に見守り助け合う **(近助)**の輪を地域が一体となって進めていけることを願っております。

協議会会長 富澤 賢司



白井市長祝辞

「白井第三小学校区まちづくり協議会」が設立されましたことに心よりお祝い申し上げます。

市では「小学校区単位のまちづくり」を第5次総合計画の重点戦略事業に位置づけ、平成28年度より推進してきました。協議会の設立を契機に、これまで以上に白井第三小学校区の特徴を活かした事業が展開され、小学校区の皆様が地域に魅力や愛着を持っていただけるよう、引き続き支援させていただきます。

これからの協議会の発展と皆様のご多幸を祈念し、お祝いの言葉といたします。

白井市長
笠井 喜久雄 様





部会長のあいさつ

地域活性・環境部会



森岡 義人

市内の各まちづくり協議会には、その地域を生かした部会名があると感じます。白井第三小学校区では、栄区独自の夏祭りといくつかの自治会が集まって行う合同夏祭り、地区社協が実施している「こいのぼり祭り」や「お楽しみ食事会」などがありました。従って、なにもまち協がしゃしゃり出るような状況にはならないように感じております。しかしながら、この3年間新型コロナ禍の影響で、世界的に生気がうせてしまったと感じられます。そこでまち協の趣旨・目的を地域活性・環境部会という名の下で、住民に啓蒙するには今しかないと思っており、それには住民への理解と協力が先決かと思います。「住みたいまちから住み続けたい街へ」ということを一丸にして。

子育て支援・青少年部会



井川 芳枝

昔は親・祖父母、叔父、叔母、ご近所と周りでアドバイスやサポートをしてくれる子育てでしたが、近年は母と父と2人での育児家庭が多く、親以外の大人との関わりが減っています。第三小学区では近所で声掛けをする地域性は他の地区に比べて多いと感じますが、それでもコミュニティ不足は否めません。地域の中で世代間が交流することで児童・青少年が何でも話せる大人との関わりを増やせたらと考えます。子育てに必要な事や、青少年健全育成に協力できることの実現性、地域住民のご協力をよろしくお願いします。



福祉・健康部会



石田 里美

みんなで助け合い元気で暮らそうを目的として部活動を行ってまいります。今年度の主な事業内容は、①高齢者の生活状況の把握 ②日常生活の見守り・支援体制づくり ③健康づくりの推進の3つです。

今後、高齢者の生活状況アンケートを実施する予定ですので、対象となられる皆さまのご協力をお願いいたします。



防犯・交通安全部会



橋本 力

第三小学区では防犯・交通安全の問題は以前より重要な地域課題と認識しています。今年度の防犯テーマとしては、①防犯パトロールの強化 ②防犯情報の発信と防犯人材の充実、交通安全テーマとしては①交通危険箇所の集約・発信・共有 ②交通安全リーダーの育成 ③ボランティア体制充実による見守り強化 を掲げて推進して参ります。月1回の部会開催による方向づけと具体的な活動を通して安心、安全なまちづくりを目指していきます。

防災特別部会



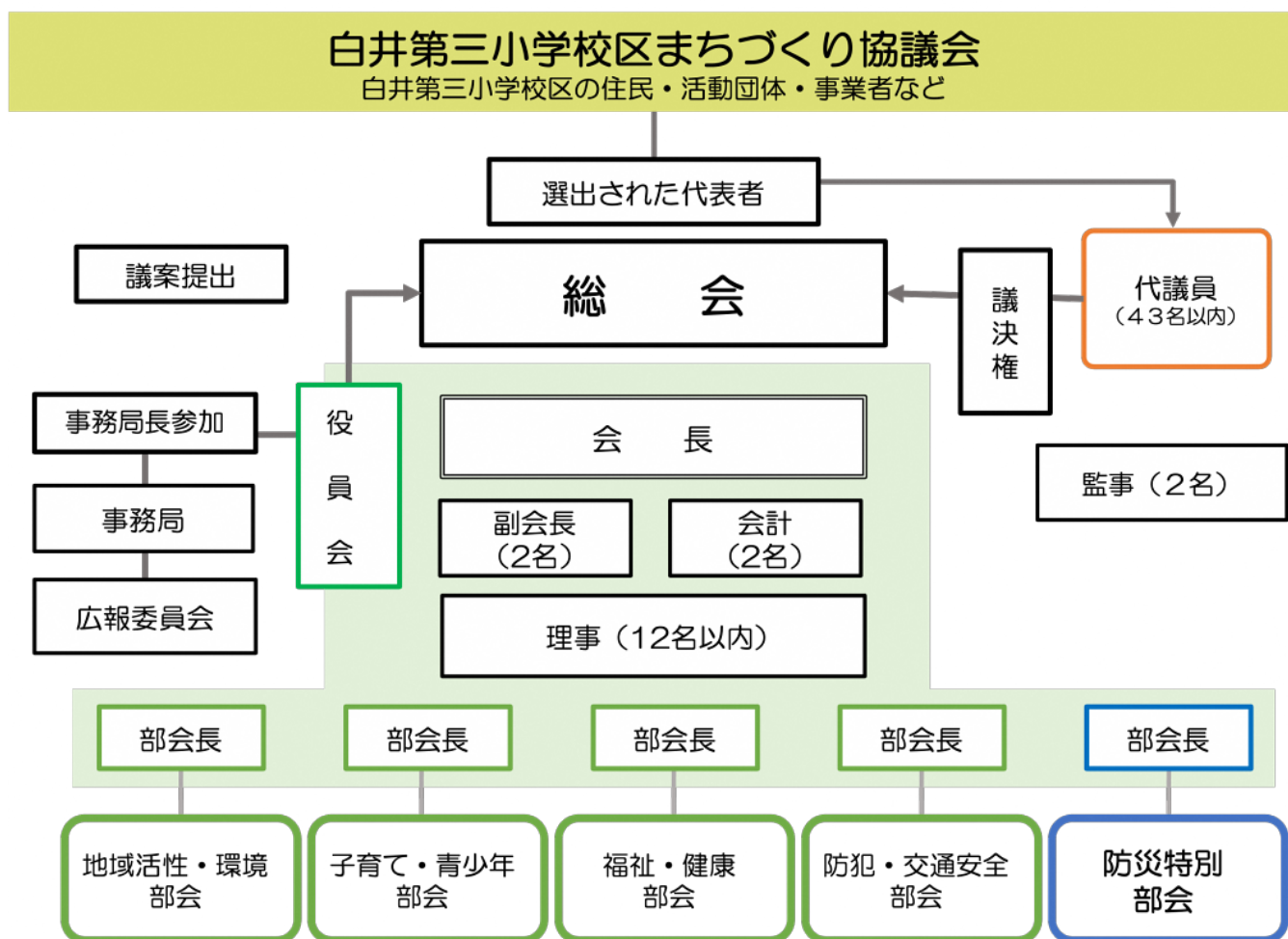
大野 彰

白井第三小学区まちづくり協議会の「防災特別部会」は地域住民にとって最も関心の高い、災害発生時には一番身近で命を守るための部会です。第三小学区は10の自治会が構成されており、防災並びに災害発生時の対応についてこれまでは各自治体が個々に対応し対策が取られてきました。しかしながら平成30年10月1日にこの地域を襲った台風24号では富士地区での倒木による道路の通行止め、そして停電による断水及び信号の停止と住民生活に大きな影響をあたえました。それに伴い緊急事態発生時の連絡網の不備も露呈しました。最も基本となるのは地域住民が日常生活を共にする最小単位である隣近所です。第三小学区の地域の生命・財産を守り、災害を最小限にするためにはまちづくり協議会の下でまず各自治会間の連絡網を明確にし、住民と公共が連携することです。



協議会の組織体制と部会の事業

組織図



部会の事業

地域活性・環境部会

- あいさつの啓発活動
- 地域活性化委員会（仮）の設立
- 環境組織の創設による活動促進

子育て・青少年部会

- 子どもの居場所づくり
- 子どもの学び・参加の機会づくり

福祉・健康部会

- 高齢者の生活状況の把握
- 日常生活の見守り・支援体制づくり
- 健康づくりの推進

防犯・交通安全部会

- 防犯パトロールの強化
- 防犯情報の発信と防犯人災の充実
- 交通危険箇所の集約・発信・共有
- 交通安全リーダーの養成
- ボランティア体制充実による見守り強化

防災特別部会

- 防災リーダーの育成
- 防災組織の設立と充実
- 防災マップの作成
- 防災訓練の実施



こいのぼりを掲揚しました！

例年こどもの日を中心に富士南園広場で実施していた「こいのぼり祭り」、3年前からコロナの影響で昨年同様今年も縮小した掲揚のみの催しとなりました。

以前はこの「こいのぼり祭り」は第三小学校区地区社会福祉協議会（＝以下地区社協）が主体で実施していましたが、数年前に地区社協から自治会への協力要請があり、それならば自治連合会第三小区支部（自治連支部）として協力しようという事になり、また共催が妥当という事で実施してきました。



3年前にこの白井第三小学校区が「まちづくり協議会（＝以下まち協）」のモデル地区に指定され、数回にわたり本活動に向けて協議の中、現共催である「こいのぼり祭り」は自治連支部からまち協に移行した方がいいという事でまち協に移管することとなりました。本年度も残念ながらコロナ禍が収まらず、こいのぼりの掲揚のみとなってしまいましたが、4月30日に大きな支柱を2本立て、それを中心に扇状に綱を張り、その綱に約150匹のこいのぼりを泳がせました。5月7日の撤去の日まで連日近所の幼稚園や保育園、老人ホームの人たちが大勢遊びに来ていました。富士南園広場は鎌ヶ谷市と隣接しており、鎌ヶ谷市内の施設からも訪れる人がいました。



通常開催だと本年度は23回となるところでしたが、5月の青空を泳ぐこいのぼりは子どもの成長を祝うとともに、大人には何か郷愁を思わせるところもあり、また都会ではこいのぼりが泳ぐ姿がほとんど見られなくなってしまったことからこのイベントは末永く続けていけたら・・・いや続けていくべきだと感じています。

地域活性・環境部会 森岡 義人

Twitter・Instagramで 情報発信中！



白井第三小学校区まちづくり協議会の
いろいろな情報を発信していきます。
ぜひチェックしてみてください！

編集後記

創刊号の白井第三小学校区まちづくり協議会だより
「みんなdeまちづくり」はいかがでしたか？
今年は異例の早さの梅雨明けとなり、連日暑い日が続いています。まだまだ体が暑さに慣れていないので、適切なエアコンの使用と、こまめな水分補給を心がけて熱中症に気をつけてお過ごしください。

広報部会 松田